



Vol. 03  
2021

# 鈴木設計ニューズレター

Suzuki Architectural Design Office

「生活する人々に寄り添った  
優しい建築を」

社長補佐 庄司和彦

私たちの設計事務所は、福祉・医療施設、保育施設を専門分野の一つとしています。

このような施設の利用者は、高齢者、障がい者、患者、乳幼児という、立場と力の弱い人々が中心です。

そこで生活する人々にとって建築は機能的であればよい、というだけではないはずで、

その施設で暮らす多様な人々の誰もが居心地の良い空間を享受して生活できること、同時にいくつもの生活者たちを懸命にケアするスタッフの方々にとっては快適な空間であることを、私たちは大切にします。

そのために私たちは人々の活動をよく観察して、そこから得られた配慮を積み重ねます。豊かで優しい空間は、お年寄りの元気発刺、病人の治療と癒し、子どもたちの生き生きとした成長に働きかけ寄与します。是非私たちと一緒に、人々を元気にする建築をつくりませんか。



社長補佐 庄司 和彦

## 沖郷双葉保育園

基本計画・基本設計・実施設計

南陽市

敷地西に大きな堤を有する、子育て支援センターを併設する保育園として、令和2年4月に開園いたしました。

鉄骨造でありながら、内外部に木を多用し、木のぬくもりを感じられる設計としました。また、随所に出窓や絵本コーナーなどの「居場所」を多く設け、子どもたちの創造や活動を豊かにする工夫をしました。

子どもの遊びを研究されている大学の先生監修の元、屋外の遊びが子どもの発育に重要



斜めのアクセント袖壁と杉板張縁側が特徴的な外観

であることを学び、園庭の設計にも注力しました。様々な活動を誘発する設えや植樹を行った園庭を中心に、園舎外部に巡らせた縁側が園庭とつながる設計とし、子どもの感受性を伸ばす魅力ある保育園となりました。

これからも、使い手の気持ちに寄り添って、共に思いを形へと描いていきます。(阿部佳耶)



鉄骨造でありながら、木質感が感じられる遊戯室



出窓やロフトなどの「居場所」を設けた絵本コーナー



堤を望む、縁側からつながる園庭

## 事務所西側スペースにパーゴラ付きデッキの設置

事務所の西側スペースは緑豊かな東側の庭に比べ、幅が狭く碎石敷きで殺風景でした。また、西側の開口部は出入り口のドアが数ヶ所だけですが、西日が強く差し込みます。今回の改修の目的は、西側を社員のくつろぎの場にする事と、西日対策でした。室内空間と同じ床高にデッキを敷き、既存のフェンスにヘデラを這わせ、それがさらに上へ伸び伸びと成長できるように、パーゴラを取り付けました。8月に完成しましたが、ヘデラは随分と伸びてきました。椅子は新入社員の 新田ゆいさんが選んだものです。これからどんな風に変化していくのか楽しみです。(藤原薫)



緑豊かなヘデラと椅子のある憩いのスペース



垣間見える青空への眺望



やわらかい日差しが包むパーゴラとデッキ



# 鈴木設計ニュースレター

## ○目次

- ・ 社長補佐 庄司和彦の挨拶
- ・ 沖郷双葉保育園
- ・ 事務所西側のデッキ改修

## ○建築家 庄司和彦について

- 1968 ～ 東京大学工学部建築学科大学院修士課程卒業
- 1969 ～ 2006 (株)岡田新一設計事務所で計画設計監理を担当  
取締役、副社長、特別顧問等を歴任
- 2006 ～ 一級建築士事務所 庄司和彦設計室設立
- 2009 ～ 弊社の社外アドバイザーとして数々の物件で設計指導を行う
- 2021 ～ (株)鈴木建築設計事務所 社長補佐就任

代表作品：秋田県立リハビリセンター / 榛名町総合文化会館 / 徳島県立図書館等

## ○沖郷双葉保育園の基本情報

**所在地** 山形県南陽市  
**主要用途** 保育園 子育て支援センター  
**敷地面積** 5,505.09 m<sup>2</sup>  
**延床面積** 1,422.75 m<sup>2</sup>  
**構造** 鉄骨造(口準耐)  
**階数** 地上一階

**施主** 社会福祉法人 双葉会  
**設計監理** 鈴木建築設計事務所  
石澤 安達 笹原 阿部 岩館(元所員)  
**施工** 松田組 東北電化工業 大和設備工業  
**設計期間** 平成30年12月～令和元年6月  
**施工期間** 令和元年8月～令和2年6月(外構含む)

## ○お問い合わせ等

株式会社 鈴木建築設計事務所

Suzuki Architectural Design Office

代表取締役社長 藤原 薫



Instagram



ホームページ